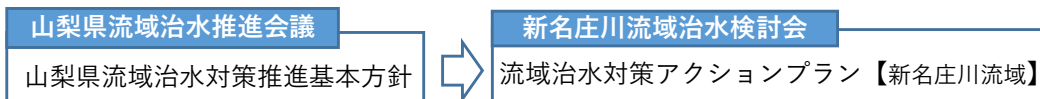


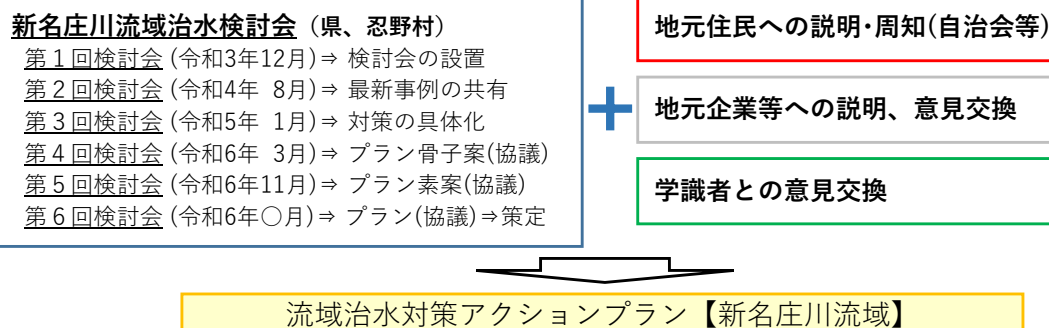
■ 背景・目的

- 気候変動の影響により、全国的に想定を遙かに上回る豪雨が発生し、災害が激甚化しており、今後もこの傾向はさらに高まると予想されている。
- 山梨県においても、これまで以上に治水事業を充実・強化することに加え、河川の流域のあらゆる関係者(行政、企業、住民)が協働し、「流域治水」に取り組むことが重要となっている。
- 新名庄川流域において、地域特性に応じた具体的な対策を「アクションプラン」としてとりまとめ、効果的な対策の組み合わせにより、流域治水対策を推進する。

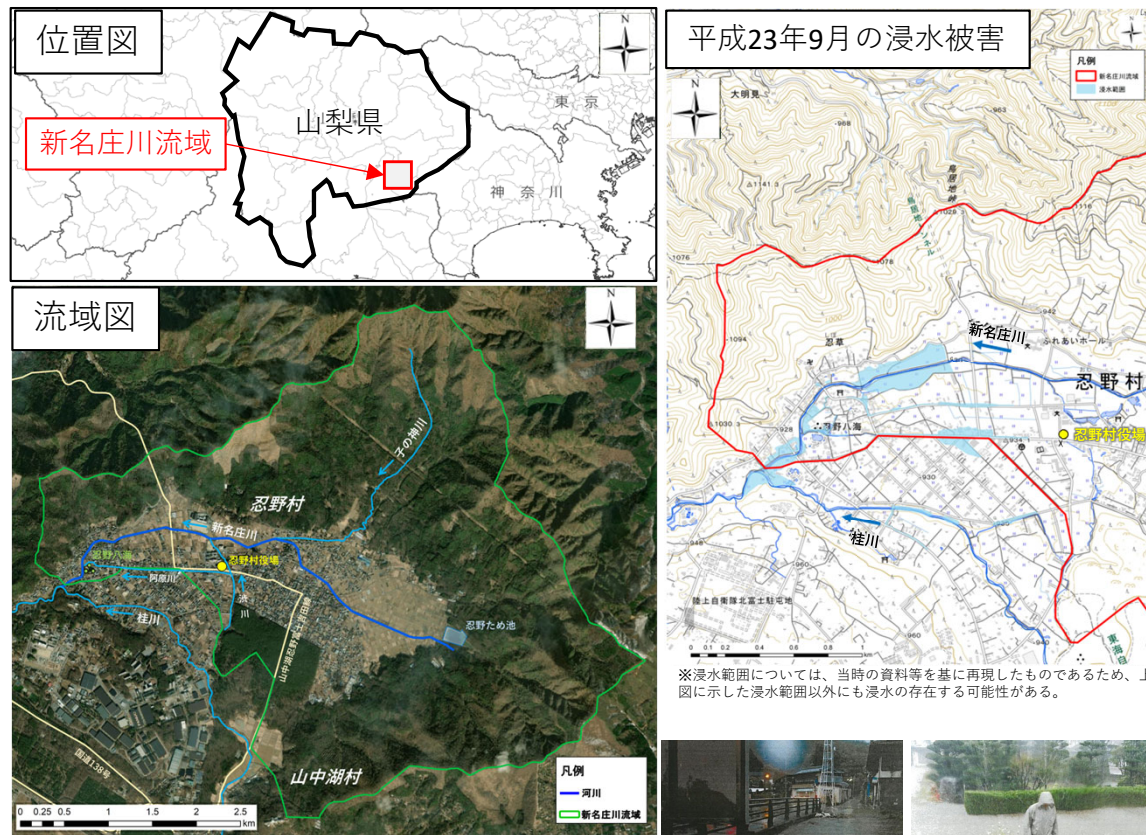
■ 位置づけ（協議・検討組織等）



■ 検討経緯等



■ 流域図・流域の現状



※ 浸水範囲については、当時の資料等を基に再現したものであるため、上図に示した浸水範囲以外にも浸水の存在する可能性がある。

■ 対象降雨、対象期間、アクションプランの目標

● 対象降雨

対象降雨は、過去の浸水状況を踏まえ、**平成23年9月降雨（台風15号）**とする。

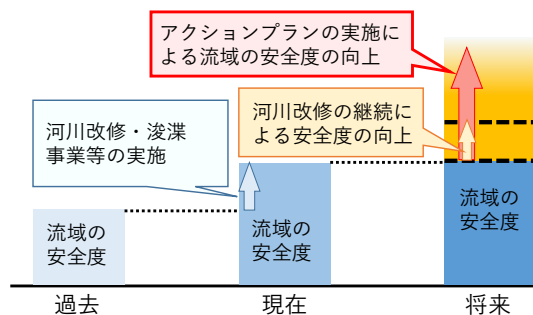
【対象降雨決定の理由】 平成23年9月降雨（台風15号）は、日降雨量388mmを観測しており、新名庄川流域で浸水被害を発生させた。

● 対象期間

早急に一定の効果を発揮させるべく、必要な期間を**概ね10年**とするが、以降も継続して取り組みを実施するものとする。

● アクションプランの目標

新名庄川流域は、河川整備に着手している段階であり、順次、河川区域内の対策を実施する。また河川区域外においても雨水の流出抑制対策や、避難体制の強化など、**流域としての安全度を向上させ、浸水被害の軽減等を目指す。**



河川の現状



流域治水対策アクションプラン（素案）【新名庄川流域】（概要版） （令和6年11月）

■ アクションプランの対策メニュー（一覧）

【凡例】 □：検討、準備 ■：実施

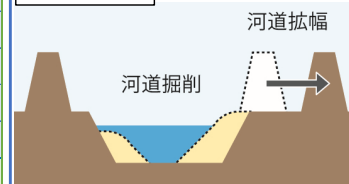
テーマ	実施区域	具体的な対策メニュー	関係機関	実施期間				
				アクションプラン対象期間		長期		
				短期	中期			
＜テーマ1＞ 氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策	河川区域	洪水氾濫対策 新名庄川の整備	(県) 治水課	■	■	■		
		洪水氾濫対策 茨川分派施設の整備	(村) 建設課	■	-	-		
		洪水氾濫対策 準用河川の整備	(村) 建設課	■	■	■		
		洪水氾濫対策 河道整正や伐木、浚渫の実施	(村) 建設課 (県) 治水課	■	■	■		
		河川管理施設の適正な運用、維持管理	(県) 治水課	■	■	■		
		段階的なハード整備等の将来計画検討	(県) 治水課	□	□	■		
	集水域	公共施設における雨水貯留浸透施設の設置	(県) 道路整備課、道路管理課 (村) 企画課、観光産業課、建設課、子育て支援課、教育委員会	■	■	■		
		民間施設における雨水貯留浸透施設の設置の促進	(村) 企画課、観光産業課、建設課	■	■	■		
		忍野ため池の保全、事前放流	(村) 観光産業課、建設課 (県) 耕地課	■	■	■		
		雨水排水・逆流防止施設等の整備による浸水被害対策の実施	(村) 建設課、環境水道課 (県) 下水道室	■	■	■		
		農業用排水路の改修、適切な運用、維持管理	(村) 観光産業課、建設課 (県) 耕地課	■	■	■		
		排水路の改修、維持管理	(村) 建設課	■	■	■		
		各戸貯留浸透施設の設置促進	(村) 建設課	■	■	■		
		砂防施設の整備	(県) 砂防課	■	■	■		
		森林整備や治山対策による山地の保全	(県) 治山林道課、森林整備課 (村) 観光産業課	■	■	■		
		田んぼダムの促進	(村) 観光産業課 (県) 耕地課	■	■	■		
		＜テーマ2＞ 被害対象を減少 させるための対策	集水域 氾濫域	適切な開発指導の推進	(村) 建設課	■	■	■
				中小河川における洪水浸水想定区域図の作成・公表	(県) 治水課	■	■	■
土砂災害警戒（特別警戒）区域の指定	(県) 砂防課			■	■	■		
＜テーマ3＞ 被害の軽減、早期復旧・復興 のための対策	氾濫域	中小河川における洪水浸水想定区域図の作成・公表（再掲）	(県) 治水課	■	■	■		
		ハザードの見える化の推進	(村) 総務課 (県) 砂防課	□	■	■		
		防災教育の推進	(県) 防災危機管理課、治水課、砂防課、教育企画室 (村) 総務課、教育委員会	■	■	■		
		ハザードマップの改定、防災情報発信	(村) 総務課	■	■	■		
		マイ・タイムラインの普及促進	(村) 総務課	■	■	■		
		大規模水害を想定した避難先の確保	(村) 総務課 (県) 防災危機管理課	■	■	■		
		民間企業との災害時の連携の推進	(村) 総務課	■	■	■		
		地区防災計画の作成支援等による地域防災力の向上	(村) 総務課	□	■	■		
		要配慮者利用施設の避難確保計画の策定支援	(村) 総務課、福祉保健課 (県) 防災危機管理課	■	■	-		
		避難行動要支援者ごとの個別避難計画の策定支援	(村) 総務課、福祉保健課	■	■	■		
		観光客等の避難支援	(村) 総務課、観光産業課	■	■	■		
		村有施設の浸水対策	(村) 総務課	■	■	-		
		事業継続計画（BCP）策定及び支援	(村) 総務課、観光産業課 (県) 産業政策課	■	■	■		
		水道施設、下水道施設の耐水化	(村) 環境水道課 (県) 下水道室	□	■	■		
		大規模水害発生後の早期復旧・復興に向けた災害廃棄物の円滑な処理	(村) 環境水道課 (県) 環境整備課	□	■	■		

テーマ1

河川区域

河川整備や浚渫などにより河川の氾濫を防ぐ。

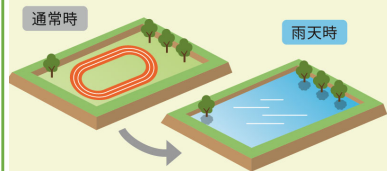
洪水氾濫対策



集水域

雨水の流出を抑制し、浸水被害を減少させる。

公共施設における雨水貯留浸透施設の設置



テーマ2・3

氾濫域

リスク情報の充実や避難体制の強化により、適切な土地利用や早期の避難を促進し、被害を減少させる

ハザードマップの改定、防災情報発信



防災教育の推進

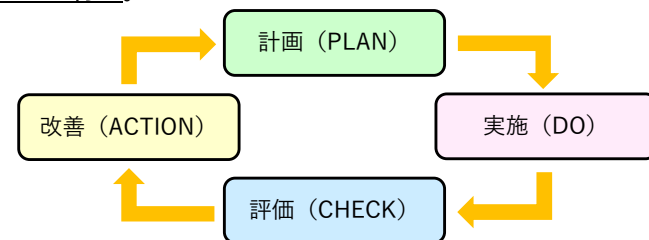


※具体的な対策メニューの一例

■ 進捗管理

●年次報告と計画の見直し

各実施主体が対策を実施し、流域治水検討会で進捗状況等を取りまとめ、流域治水推進会議に年次報告を行う。また、本アクションプランは、進捗状況及び社会の動向等を踏まえ、適宜見直しを行う。



【短期：5年、中期：10年、長期：10年以降】